

野原住環境

賃貸住宅のデザインを支援

企画から職人探し、ツール作成まで

建材商社の野原住環境（東京都新宿区）は、不動産事業者向けの新サービス「CUBE（キューブ）」の提供を10月1日に開始した。



▲石井梓リーダー(右)と嶋崎あやさん(左)

これは、マンション・アパート住戸の企画から工事業者の紹介、営業ツ

ールの作成までを同社が請け負うというもの。主なサービス対象は、賃貸マンションの開発・運営や中古住宅の買取再販を行う不動産会社やデベロッパー。

具体的には、まず不動産会社から物件に関するヒアリングを行った後、意匠設計レベルのプランニングを実施。次いで職人の紹介や建材の选配、さらには、3Dパース図や図面、賃貸オーナーへの提案書といった提案ツールの作成を必要に応じて行う。

利用料は同社が取り扱う建材を使用する場合無料。サポートを通じて取引先を増やす狙い。

今期は20件ほどの受注

を計画。そして、来期は2億円、5年後には10億円の建材販売につながるの見込んでいる。

「建材に精通している

からこそ、お客様のニーズに応じて、デザイン、コスト、納期のバランスを取ったプランニングができるはず。建材というハード面だけでなく、『CUBE』のようなソフトの面も強化することで、お客様を包括的にサポートしていきます」（本社統括部営業一部二課・石井梓リーダー）